



さくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

一年を振り返る

新潟教区仏教婦人会連盟副会長 藤由栄子

私、仏教婦人会の役員は初めてです。所属寺の仏教婦人会の役員を始めてさせていただき、代表もさせていただきました。巻組仏教婦人会連盟代表者会に坊守と一緒に出席させていただきました。代表者の役員改選があり、坊守が集まって会長が決められました。事務局の方が会長が決まりましたと発表され、名前が私の名前でした。

巻組は何・・・？ 何ヶ寺あるの・・・？

巻組も知らない私が、巻組の役員をさせていただくことになりました。新潟教区仏教婦人会連盟「新旧合同役員会」並びに「新役員会」に巻組の役員として出席させていただきました。旧役員の方が「私たちの時から坊守がいられなくて門徒だけで良い面もありましたが大変でした。」と言われ、ご苦労されたんだなあと思いました。

新役員会で、各役員及び評議員が決まりました。私は副会長をさせていただくことになりました。

五月三十一日「仏教婦人会連盟研修総会」、七月十二日「恵信尼公廟所・恵信尼さま会館視察研修」、十一月二十三日「若い女性聞法集い」、十二月一日「第二十五回仏教婦人大会」がありました。大勢の方よりご参加をいただきまして、ありがとうございます。

ご縁を大切に、出合いに感謝し、責務をしっかりとやって行きたいと思えます。

発行所：
新潟教区教務所
長岡市与板町
与板乙 4356
Tel (0258) 72-2120
F (0258) 72-2536

何の事？

新潟教区寺院女性会連盟委員 山之内芳江

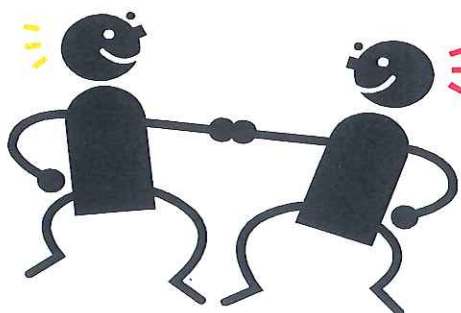
先日さくらんぼ編集会議で、仏教婦人会の役員の方と寺院女性会の役員が集まった時の会話の一部が、耳に残りました。

「お寺さんが、専門用語っぽい言葉で、何を言っておられるのか解らないのよ。奥様って、坊守って言うのね！」

私をはじめ、寺院女性会の皆は、ドキッとしたのではないでしょう。今まで当たり前のように使っていた言葉が、ご門徒の方々に理解されていないかと思うと、申し訳ない気持ちになりました。

確かに、学生時代に先生が「御開山聖人と親鸞聖人が同一人物だと解らずに、ご法話を聞いておられる方もいらつしやる。自分では解っているつもりで話しても、解らない人がある事があるかも知れませんよ。」と言われたのを思い出しました。

お互いに、「何の事？」と恥ずかしがらずに聞き合える、仏教婦人会・寺院女性会でありたいものです。それに向けて、一緒に聴聞し、一緒に話し合える場を作る事が、これからの課題だと思います。



新潟組

①新潟組寺院女性会研修会

【4月24日】

『浄土真宗から見た環境問題』

講師：井上慶永師

②新潟組門信徒会運動研修協議会共催

【10月4日】

安藤聖一師の『御絵伝 絵解き』

*人形説き「こぶしの里のぬしんさま」

③新潟組寺院女性会研修会

【12月4日】

『実践運動について』

講師：梶原教朗教務所長

巻組

①コーラス発表

【11月1日 会場：あそか苑】

巻組ビハーラ法話会と巻組寺院女性会の合同開催

《曲目》

*お名前よべば

*もみじ

*たきび

*はにゆうの宿

*ふるさと

利用者の方も、スタッフも皆一緒に楽しむことが出来ました。

②巻組仏婦秋の研修会

【10月3日】

テーマ・み教えに気付かされて

講師：雲林重正師（与板組 浄秀寺）

第三十五回新潟教区 仏教婦人大会を終えて

与板組・明元寺門徒 山崎紀子

二年に一回廻つて来ます大会が、この与板組 主管で行われる事を知り、本当にびっくり致し、この私が大役を軽はずみに引き受けてしまい、不安が先に立ちました。

何度か会合が開かれるうち、ご住職一人一人が熱心で、お互いに信頼感を持つてお仕事をなさっていられるのに気付きました。実行委員をきめるのも和氣藹々の中で進み、第一回目の会合でスローガン「集まろう 大きなお寺の 屋根の下に」、テーマ「響きあういのち」に決まり、皆真剣に話し合われました。

第二回目は記念品選定と案内チラシの事でした。第三回目は日程の内容検討と役割分担。この分担を決める時も、各自その人に合った箇所にもうまく決まったものと感心いたしました。第四回目からは当日歌われる曲、献灯・献花・献香の練習を数日行い、十二月一日の当日を迎えました。

作業の合間にもご住職との会話で、お念仏の深いお話にふれる事があり、毎回教えられる事ばかりでした。講師を決めるに当たっては、新聞・テレビを見て知っておられた実行委員からの提案で、事務方のご住職がすぐにアポイントをとり承諾頂きました。

奈良教区の光明寺住職の三浦明利さんをお招きして、午前と午後自作の曲「ありがとう」

を始め数曲とご法話が行われました。若い住職ですが、立派なお考えをお持ちで学ぶ事も沢山ありました。講師のお人柄でしょう。明るい雰囲気です。講義の多い盛上った法話でした。 広い別院の講堂で三百十七名の方々において頂き、組長さん始め各お寺のご住職と実行委員の綿密な会合があつて、大きな大会が成し遂げられました。遠方の奈良教区からお出かけ下さった三浦明利さんは、一日中降り続いていた新雪をどの様な思い出として帰路に着かれた事でしょう。私ども与板組としての大会が充実感のある良い一日で終わりました事は、本当に嬉しいものでした。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



与板組

平成24年度活動報告

★与板組寺院女性会

①総会

【6月29日 会場：浄元寺】

平成23年度事業報告・決算報告

平成24年度事業計画・予算審議

②キッズサンガへの参画

【8月19日 会場：浄秀寺】

お勝手の補助

活動への参加

③研修旅行

【9月14日】

ゑしんの里と親鸞聖人ゆかり上越御旧跡

参拝

④親睦会

【12月6日 会場：リモージュ】

情報交換

★与板組仏教女性会

①総会・研修会

【6月14日 会場：本願寺新潟別院】

平成23年度事業報告・決算報告

平成24年度事業計画・予算審議

②お念珠作りの研修会

【7月22日 会場：本願寺新潟別院】

腕輪念珠作りを学ぶ

③キッズサンガへの参画

【8月19日 会場：浄秀寺】

腕輪念珠作りの指導など

④第35回新潟教区仏教婦人大会

【12月1日 会場：本願寺新潟別院】

⑤研修会「育ちあういのち」

【2月24日 会場：本願寺新潟別院】

門徒式章作り、仏事の質問会

長岡組

①研修活動

【6月6日】

長岡市上岩井の西照寺様にて、重要文化財

親鸞聖人座像を見学

②ボランティア活動

特別養護老人ホーム「まちだ園」において

毎月第1木曜に、タオル・おむつ・ビニ

ール袋をたんだり、繕い物等の活動

③リサイクル活動

10月に使用済みローソクの回収。

組内全寺院にお声掛けし、組会開催日に

持って来て頂いたり、回収に伺ったりし、

今年度は段ボール箱20箱分集まり、吉運

堂様を介してアフガニスタンへ発送。

元上組

①仏教婦人会連盟総会

【6月16日 会場：明鏡寺】

勤式の基本

②寺院女性会連盟総会・親睦会

【6月25日 会場：彦三樓】

③さわやか講話会協賛

【7月8日 会場：専徳寺】

金子みずぶの世界

④寺院女性会研修親睦会

【9月4日 トウールモンド】

⑤寺院女性会反省会

【3月】

三条組

①三条組みのり会（仏教婦人会・寺院女性会）

【5月23日 会場：燕三条ワシントンホテル】

平成23年度事業報告・決算報告

平成24年度事業計画・予算審議

親睦会（昼食会）

②今年度は諸事情により、行事等の活動は行え

ませんでした。

③三条組みのり会

【3月】

平成24年度事業報告・決算報告

平成25年度事業計画・予算審議

地藏堂組

①日帰りバスツアー

【10月20日】

本願寺国府別院参拝

ゑしんの里会館見学

長峰温泉「ゆつたりの郷」にて昼食

②昼食交流会&役員改選

【3月4日】



慈しみの心

与板組・蓮正寺坊守 豊田祐子

「集まろう 大きなお寺の 屋根の下に」大会 スローガンのように、大勢の皆様と一緒に仏様に向かわせていただき、三浦明利さんの美しく心地良い声明が本堂に響き楽しい時間を「ありがとう」ございました。

「ありがとう」は「有り難し」つまり滅多に無いという意味です。有り難き幸せ＝滅多に無い幸せという事になります。有り難い事は滅多にないんだなあと感じました。一つ一つの出会いや人を大切に思う気持ちの「ありがとう」だけでなく、咲いた花にも、私たちが食べた何かの命にも、日頃何気なくつかっている「ありがとう」を心から言えたなら、それはとても素敵な事だったんだと気付きました。何にでも温かい気持ちを感じることが出来た時間でした。

実行委員の皆様、ご苦勞様でした。素敵な時間を「ありがとう」ございました。



三浦明利さん

恵信尼公廟所・恵信尼さま会館視察研修

今年度、新潟教区仏教婦人会連盟活動として七月十二日に恵信尼公廟所・恵信尼さま会館視察研修(実践運動研修会)を開催いたしました。参加者は五十一名で、平成二十三年四月に建立いたしました恵信尼さま会館を参拝し、親鸞聖人のお示しくくださったお念仏のみ教えを、学ばせていただきました。

お念仏の母として慕われる恵信尼さまのご遺徳を伝えつづけ顕彰していくために、恵信尼さま顕彰活動は進められております。出来る事から協力していきましょう！

恵信尼さま会館

上越市柿崎 浄福寺
ご住職の法話



《浄土真宗あれこれ》

お仏壇の御本尊に蓮台(れんだい)はありますか？

お寺の本堂やお内仏、みなさんのお宅のお仏壇にご安置される御本尊には必ず蓮台があります。

御本尊には木像・絵像・名号があります。そして木像は本願寺で木佛点検を受けたもの、絵像は裏書(方便法身)があるもの、六字(南無阿弥陀仏)名号には蓮台があり、そしてご門主様の朱印があるものが本堂やお仏壇にご安置する御本尊です。いずれも本願寺からの免物(めんもつ)として戴くのが御本尊なのです。

また御本尊の脇掛けとして、親鸞聖人・蓮如上人の御影をお掛けするか、九字(南無不可思議光如来)名号・十字(帰命尽十方無碍光如来)名号をお掛けします。この場合も御影には裏書(本願寺々務釈即如)があり、名号にも必ず蓮台があり、ご門主様の朱印があります。

名号は大切な御本尊ですが、蓮台のない名号は御本尊としてではなく、床の間などにお掛けする掛け軸となります。浄土真宗では蓮台のある御本尊が礼拝の対象となり、お仏壇にご安置されるのです。



朱印



蓮台

本願寺新潟別院
輪番 梶原教朗